

常任委員会

委員会でも徹底調査

こんなことを聞きました

常任委員会とは？

その部門に属する町の事務に関する調査を行い、また、議案、請願・陳情等を審査します。本町議会では、3常任委員会に分かれています。

総務委員会

交通安全、バス、庁舎管理、防災、防犯、財政、税務、総合計画、広報、コミュニティ、選挙等に関する事

文教厚生委員会

保育園、学校教育、生涯学習、スポーツ、図書館、健康、高齢者・障がい福祉、保険・年金等に関する事

経済建設委員会

道路、河川、ごみ、環境、農業、消費生活、観光、建築、都市計画、公園、上下水道、戸籍等に関する事

文教厚生委員会

中央図書館に指定管理者制度を導入

P8で詳しく

中央図書館の指定管理者に(株)図書館流通センターを指定するもの。

Q 指定管理者制度導入により、図書館業務を知る行政職員がいなく

A 年度終了後に指定管理者が町に事業報告書を提出することで、履行確

Q 指定が決まった場合、適切な管理がされているかどうかの確認方法は。

なるという課題があるが、どう対処するか。
A 行政職員に図書館担当を配置し、研修を受講させる等の対策を行う予定である。

認とサービスの質の評価を確認する。また、毎月、事業報告の場を設ける予定である。



▲4月から指定管理者制度を導入する中央図書館

Q 提示された指定管理料が妥当であると判断した根拠は。

A 過去の図書館の決算額が大規模修繕や工事を除くとおおむね1億円で推移していたためである。

Q 選書、除籍の方法は。

A 指定管理者が案を作成し、行政職員が確認後、行っていく。

Q 月曜日を開館日とすることは可能か。

A 開館予定はないが、要望が多ければ検討する。

令和3年度一般会計補正予算

児童手当制度の改正

令和4年度に児童手当制度の改正が予定されているため、関連予算を増額するもの。

Q 児童手当制度の改正内容は。

A 児童手当の現況届提出の原則廃止や特例給付の所得制限の見直し等が予定されている。

住民税非課税世帯等臨時特別給付金

コロナ禍で様々な困難に直面した住民への支援として、住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり10万円を現金給付するもの。

Q 対象者への周知は、広報ひがしうらに挟み込みとことだが、全戸配布されていない状況である。対応方法は。

A ふくし課窓口への相談時やコミュニティソーシャルワーカー^{※①}によるアウトリーチ^{※②}等で周知する。配布されない世帯については、今後検討していく。

※①制度の狭間の問題等を地域課題と捉え、解決に取り組む人

※②様々な形で必要な人に必要なサービスと情報を届けること

子育て世帯臨時特別給付金

P8で詳しく

コロナ禍の中、子どもたちを支援するため、0歳から高校3年生までの



子ども1人当たり10万円を現金給付するもの。

Q 給付金の対象者に、親の所得制限をなくす等の検討はしたのか。

A 様々な意見があるが、国の制度に基づき対応することとした。

コロナワクチン追加接種
昨年12月から開始している追加接種に係る経費を増額するもの。

Q 5〜11歳の対象人数、接種時期や接種方法は。

A 対象人数は3241人で、接種時期は令和4年2月以降になると想定。接種方法は町医師団と調整中だが、18歳以下には個別接種を行った状況である。

総務 委員会

東浦町部制条例の 一部改正

魅力あるまちづくりを進めるため、まちづくりに特化した都市整備部の新設等により、専門的かつ横断的な対応を可能とするもの。

Q この時期に提案した理由は。

A 毎年、組織改編や機構改革の必要性は、人事異動前に考えている。来年度に向け、今後の本町の組織体制を考える中で、今後、区画整理やまちづくりに関する事業が進展していくことを捉えた結果、今回の提案となった。



▲組織改編される建設部

Q 雨水対策も含め、水道部の設置を見直す考えはなかったのか。

A ゲリラ豪雨等の対策も、今後進めなければならぬことは認識している。様々な課題の中、まちづくりに重点を置いて進めたいという考えによるものである。

Q 他の機構の変更も検討したのか。

A 総務部に危機管理に特化した課の新設、広報の充実のため、課の統合等を考えている。

Q 都市整備部新設は、緒川新田地区の区画整理事業の際に検討したのか。

A 進展に合わせて対応し、緒川新田地区の区画整理も踏まえ、森岡地区の区画整理を進捗させたい。

令和3年度 一般会計補正予算 減収補てん特例交付金の 増額

住宅ローンの借り入れ

等の増加による町税の減収分を国から地方特例交付金として補てんされるもので、今回増額されるもの。

Q 減収補てん特例交付金の増額理由は。

A 森岡地区および緒川地区の民間開発等により、住宅借入金等特別控除が増加したため。

ふるさと寄附事業費の 増額

ふるさと寄附の増加が見込まれ、返礼品等に関する報償金や業務委託料等を増額するもの。

Q ふるさと寄附金の返礼品実績は。

A 申込件数で、家具が全体の約65%、食品が約30%である。



経済建設 委員会

令和3年度 一般会計補正予算 都市計画道路藤江線の 整備

藤江地区の国道366号から国道366号バイパスまでを整備する計画。

Q 今後の進め方は。

A 来年度以降、県の市町村土木事業費補助金で事業を進めると同時に事業認可取得に向け、継続して県と協議を行う。



▲整備計画のある町道藤江線

町内飲食店マップの作成
コロナの影響を受けた町内飲食店を支援するため、町内飲食店マップを2万部作成するもの。

Q マップの活用方法は。

A マップにより、町内飲食店の魅力を伝え、飲食店に出向ききっかけとしたい。

Q マップにクーポンを付ける予定はあるか。また、町広報紙と合わせて配布すると全戸に行き届かないが、考えは。

A 現時点では、クーポンを付ける予定はない。町広報紙での配布のほか、飲食店、公共施設にも設置する予定。

Q 飲食店には協力金等もあったが、支援が本来に必要な状況であるかの調査はしたか。

A 協力金の対象とならない飲食店や、対象でも苦しい飲食店もある。また、今回のマップ作成に際し、飲食店を訪問して実情を聞いたが、緊急事態宣言解除後に客足が戻るか不安との意見もあった。

東浦駅東側改札口の設置
JR東浦駅東側改札口の設置について、鉄道路



▲周辺整備が予定される東浦駅

業者からは、簡易改札は駅構内のセキュリティ確保や改札システムの関係で困難と回答があった。

Q 来年度の方針は。

A 今後も協議を継続するが、長期化すると想定される。方針や内容が定まったら、再度予算上程を行いたい。

Q 東側改札口の設置は、東浦駅周辺整備から除いていくということか。

また、西側駅前広場再整備と東側改札口設置は分けて行うのか。

A 東側改札口設置は、協議の長期化が想定されるが、引き続き行う。

また、西側駅前広場の再整備は、先行して進めていくものと考えている。